**新学術領域研究「グリアアセンブリによる脳機能発現の制御と病態」**

**国際共同研究加速基金「国際グリア研究ネットワーク構築プロジェクト：日独若手研究者交流・育成を軸として」**

**第2回YoungGlia Meeting旅費支援プログラム募集要項**

平成28年4月1日

YoungGlia実行委員長　田中謙二

　本新学術領域では平成27年度より国際共同研究加速基金に採択され、次世代のグリア研究を担う研究者を育成するための新しい支援活動「YoungGlia」を始めました。2016年1月に第1回YoungGlia Meetingが慶應義塾大学で開催され、日独若手研究者による4件の共同研究提案が採択されました。詳細はニュースレターVol.4をご参照ください。

　第2回YoungGlia Meetingが平成28年5月29日〜5月31日にホンブルク（ドイツ）で開催されます。11名の若手をドイツに派遣し、そこで共同研究提案をドイツ側のパートナーと発表してもらい、新たに4件の共同研究を採択します。旅費、宿泊費はすべて基金から負担します。本申請において研究業績は関係ありません。学生・若手研究者の皆さんにとっては非常に良いチャンスです！是非チャレンジして下さい！！

　なお、第2回YoungGliaには、池中一裕領域代表、小泉修一（山梨大）、伊藤啓（東大）、田中謙二（慶大）、松井広（東北大）、金丸和典（東大）、扇谷昌宏（九大）が同行し、若手が異国でサイエンスを楽しめるように盛り上げます。

　以下に募集要項を記します。

**▼**第2回YoungGlia Meetingスケジュール（仮案）

5月29日 ミーティング開始（13時予定）

各参加者の研究紹介（ショートオーラルとポスター）

5月30日 日独の参加者間で共同研究打ち合わせ

5月31日　 研究計画提案と審査

解散（15時予定）

**▼条件**

1. **対象者**

* 本領域班員（計画班員、前期・後期公募班員、班友、およびその共同研究者）の研究室に所属する学生（学部生・院生）および博士号取得後5年以内の若手研究者
* 積極的に議論に参加し、共同研究提案を出そうとする意欲のある者
* 指導者（PI）の承諾が得られている者

1. **支援内容**

* 日本−ドイツ（フランクフルト）往復航空運賃（20万円程度）
* フランクフルト−ホンブルグの往復鉄道運賃
* ホンブルクでの宿泊費
* 国内交通費（出発空港までの交通費）
* 日当

1. **募集人数**

* 11名＋若干名

**▼応募締切**

**平成28年4月15日（金）正午まで【時間厳守】**

**▼応募書類**

第2回YoungGlia Meeting旅費支援プログラム申請書（Excelファイル）

申請書の研究題名は英語で、それ以外は日本語（フォント：MSゴシック、サイズ12）で作成してください。

**▼応募方法**

九州大学・扇谷（ohgidani@npsych.med.kyushu-u.ac.jp）まで上記申請書をメール添付ファイルにて送信してください。

その際に、メールタイトルに申請者（代表者）の大学名と名前を入れてください（例、九大・扇谷）。

48時間以内に受領メールが届かない場合は再送の上、電話連絡（092-642-5630）をお願いいたします。

**▼審査方法**

利益相反を考慮した上で、YoungGlia旅費支援プログラム審査委員会による書類審査で決定します。

**▼採択通知**

4月下旬（4月22日頃）までに申請者（代表者）に採択・不採択をメールにて連絡します。

**▼注意事項**

* 採択者は、採択後速やかに航空券を手配してもらいます。
* 採択者は後日、自己紹介を含む簡単な研究紹介や出張報告書を作成してもらう場合があります。
* YoungGliaおよび国際共同研究提案に関する詳細は、YoungGliaホームページをご参照ください。

YoungGliaホームページ→http://www.ims.med.tohoku.ac.jp/youngglia/index.html

* ドイツ側の共同研究者が決まっていなくても応募可能です。
* 複数のメンバーでひとつの課題に応募することも可能です。
* 本申請に関する問い合わせは扇谷（ohgidani@npsych.med.kyushu-u.ac.jp）までメールにてお願いいたします。